



① 苔や朽木もアート空間の一部に
 ② 各展示室には、雰囲気に合わせて椅子が置いてある。作品のように見えるが、座っても大丈夫
 ③ 5階の一室。壁には大森さん作の不動明王像、床には陶芸家である2代開発文七さんの写経をディスプレイ
 ④ 3階に並ぶ、本川 潤さんの作品。オブジェのようだが、実はオリジナルの楽器。金属やガラス、岩などを組み合わせたユニークな構造で、本人が演奏している様子を映像で見ることができる
 ⑤ インパクトのある鮮やかなブルー。金沢美大で学んだモンゴルのアーティスト、サルチャード・イルさんの木彫



眺望抜群の屋上。全面に巨大な白龍を描いた大森さん。龍に乗っているような写真が撮れる

金沢百年の森美術館

心揺さぶられる作品との出会い
 1階から5階、そして屋上まで
 ビルが丸ごと迫力のアート空間に

「100年後も残る石川のアートを金沢から世界へ」をコンセプトに、2025年9月に開館した私設美術館です。館長は石川県穴水町出身の画家、大森慶宣さん。一本の線で一気に描く独自のワンストローク技法をベースにしながら、型にとられない創作活動を行っています。また、石川県ゆかりのクリエイターの作品を数多く収集。それらを自身の作品とともに公開しているのが、この美術館です。ジャンルは絵画や彫刻、写真、陶芸など幅広く、展示にはケースも使わず、仕切りもありません。アートとの距離の近さが魅力です。また、建物は10年以上使用されていなかった空きビルで、雨漏りで傷んだ壁や、ひび割れなどをそのまま生かし、さらに壁や床の一部を敢えて剥がすなど、大森さんの手によつて独特の空間に作り込まれているのを見どころです。



日本料理しげ乃木

●にほんりょうりしげのき

地味溢れる和食の真髄を垣間見る

金沢市
泉野町

2025年12月、国の登録無形文化財に登録された加賀料理。しげ乃木では、そんな伝統的な金沢独自の加賀料理を追求している。旬の食材を使い季節を愛でるような料理が魅力。趣のある空間で楽しむ昼は、彩り豊かな松花堂が人気。



☎076-245-0678 金沢市泉野町1-3-23
 11時～14時、17時～21時 月曜 6台

#しんじょの椀物が付く松花堂4180円(平日限定、土・日曜、祝日は5500円)
 #加賀料理の治部煮(別注、要予約)は1320円
 #テーブル席と庭を眺める個室、座敷が用意されている
 #要予約

金沢100年の森美術館

●かなざわひやくねんのもりびじゅつかん

☎電話なし(連絡はInstagramで) 石川県金沢市広坂1-2-34 第一ビル
 11時～17時 月曜～木曜 料 入館1000円、大森さんによる一筆描き似顔絵は、はがき2000円、色紙3000円(共に1名分の料金) 〻なし



①「アポロ月面着陸船(アメリカ)」。実機と同じ素材のモデル ②船内用宇宙服。青い服はスペースシャトル時代のもの、白い服はアポロ17号の船長が着用 ③「ヴォストーク宇宙カプセル」。大気圏再突入時の焼け焦げの跡がリアル ④アメリカによる最初の有人宇宙船「マーキュリー」 ⑤「モルニア通信衛星(旧ソ連)」は1965年～1972年に打ち上げられた当時最大級の人工衛星

コスモアイル羽咋

●こすもあいるはくい

☎0767-22-9888 石川県羽咋市鶴多町免田25 開8時30分～17時(入場は～16時30分) 休火曜(祝日の場合は翌平日)
 宇宙科学展示室500円、コスモシアター500円、宇宙科学展示室+コスモシアター900円 入200円



UFOの町、羽咋市のシンボル NASAの特別協力で 本物の宇宙船や探査機を展示

宇宙開発の歴史を知ることができる宇宙科学博物館で、宇宙科学展示室とコスモシアターがあります。特筆すべきは、宇宙科学展示室に展示されている宇宙船や探査機、衛星がすべて本物であること。実際に宇宙から地球へ帰還した「ヴォストーク宇宙カプセル(旧ソ連)」や、ボイジャー惑星探査機に搭載された宇宙人へのメッセージ「ゴールデン・レコード」の原盤(アメリカ)、宇宙飛行士が着用した船内服(アメリカ)など、宇宙開発に挑んだ先人の熱意が伝わってきます。地球外生命体やUFO探査に興味のある人には、科学者の研究成果などが聞けるブースもおすすです。また、コスモシアターは迫力のあるドーム型スクリーンで、宇宙に関する番組を連日上映。美しく臨場感のある映像を見ながら、宇宙のはるか彼方へ思いを馳せるのも一興です。

UFOをイメージした外観。右に立つ「レッドストーンロケット」もNASAから入手した本物



ぼうぼう
●ぼうぼう

鮮魚店が営む絶対外さない魚料理の店

羽咋市
川原町

鮮魚店「さかなやくりかわ」直営の人気居酒屋。カウンターとテーブル席があり、地元常連客が足繁く通う。昼には限定のランチが用意され、新鮮魚介がメインの日替わりぼうぼうランチのほか、お刺身やうな重の定食、サーモン丼などが好評。



☎0767-22-0412 石川県羽咋市川原町E161 開11時30分～14時、17時～21時LO 休日曜、祝日 入20円

#ランチ来店者がぼぼう注文するという、ぼうぼうランチ1100円
 #のせるネタが別皿盛り海鮮丼1300円
 #ぼうぼうとは羽咋の方言で「魚」という意味
 #JR羽咋駅から徒歩5分の立地



①西田幾多郎の書齋「骨清窟(こつせいくつ)」を移築保存。家具も書籍も当時のまま。国登録有形文化財 ②展示室を巡り、最後に行きつく「空の庭」は、空だけの空間 ③「哲学へのいざない」がテーマの展示室1。古今東西の思想家たちの言葉がちりばめられている ④展示室2は「西田幾多郎の世界」。遺品や原稿で、その人となりを紹介 ⑤西田幾多郎のトレードマーク、愛用の眼鏡も展示 ⑥白山連峰や河北潟、日本海まで一望の展望ラウンジ

石川県西田幾多郎記念哲学館



丘陵地にそびえるガラス張りの同館。夜は建物とその周辺が幻想的にライトアップ

西田哲学×安藤建築のコラボ
西田幾多郎の思想と人生に触れ
思索の空間に浸るミュージアム

西田幾多郎は、石川県かほく市出身の哲学者です。京都大学の教壇に立ち、「西田哲学」とよばれる独自の体系を築き上げました。日本で最初の哲学書『善の研究』を著しています。同館は、彼の業績を顕彰するとともに、哲学の世界へいざなうミュージアムです。哲学入門のコーナーがあり、建物自体も「考えること」がコンセプト。設計は世界的建築家・安藤忠雄氏で、コンクリートとガラスのモダンな外観と、丘陵地を生かした長く広い階段庭園が印象的。館内には、迷路のように入り組んだ通路やコンクリートの壁に囲まれた「空の庭(くうのにわ)」、自然光が降り注ぐ静謐なホワイエなど、思索を促すスペースが作られています。また、眺望抜群の展望ラウンジやカフェも訪れてみて下さい。内省的な哲学の空間と開放的な眺望が心をリフレッシュしてくれます。

石川県西田幾多郎記念哲学館

☎076-283-6600 石川県かほく市内日角井1 時9時～17時(入館は～16時30分) 休 月曜(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日 料 展示棟300円、展望ラウンジやカフェのある研修棟は入館無料 100台

●いしかわけんにしだきたろうきねんてつがくかん



魚や料理 ほそ川
●さかなやりょうりほそかわ

吟味した極上の鯖を使う鯖棒寿司は絶品

かほく市
白尾

西田幾多郎記念館の目の前にある和の佇まい。もともと魚屋を営んでいたことから魚介の仕入れには定評がある。名物は丁寧な仕込む肉厚の鯖寿司。締め具合も味加減も絶妙でリピーターが多い一品。ほそ川膳にこの鯖寿司プラスも人気。



☎076-283-7750 石川県かほく市白尾11-1 時10時～21時30分(食事は11時～15時、夜は要予約) 休 日・月曜(予約があれば営業) 15台

#刺身、おかず2品、ご飯が付くほそ川膳2090円
#鯖寿司2貫484円、棒寿司はテイクアウトOK
#鮭寿司2貫484円、棒寿司はテイクアウトOK
#西田幾多郎記念館のすぐ前にある





①ホタルイカの発光ショーが行われるライブシアター。発光ショーがない期間は発光イメージをLEDライトで再現 ②見学は2階から。ほの暗い「深海プロムナード」(写真)を通して1階へ ③海のすぐそばに立地。近くの滑川漁港からは「滑川ほたるいか海上観光」の遊覧船が運航(詳細は同ミュージアムHPを) ④滑川沖で取水した深層水のプール「深海不思議の泉」。水温は5度。深海の冷たさを感じながら、スワイガニやヤマエビなどに触れる。3月下旬から5月はホタルイカも登場 ⑤ミュージアムギャラリーではホタルイカ漁の解説も



1階の展示ホールでは、ホタルイカの生態をさまざまな仕掛けで教えてくれる

ほたるいかミュージアム

ホタルイカのアミューズメント
VRやARでのリアルな体験に
期間限定の発光ショーも

富山湾で3月から漁が解禁されるホタルイカ。青白く発光する姿は幻想的で、その身は甘みがあつてぷりぷりとした食感という、見て楽しい、食べておいしい富山の春の名物です。そんなホタルイカの生態や、ホタルイカと共に深海に棲む生物を紹介しているのが、このミュージアム。模型やパネル、映像で分かりやすく解説されており、3月20日から5月には、ホタルイカの発光ショーも開催。生きたホタルイカの発光を間近で見られる貴重なイベントです。また、ホタルイカの視点で海中を体感できる常設のVRやARは、そのリアルさで人気の体験。さらに、深海生物に触れられる「深海不思議の泉」、キモかわいイガイオウグソクムシなどの深海魚展示や滑川沖で採取された地魚展示など、ユニークな魚たちとの邂逅は新鮮な驚きに満ちています。



近頃のオススメグルメ
パノラマレストラン 光彩 富山湾一望のレストランでホタルイカ

●ばのらまれすとらんこうさい

滑川市
中川原

ほたるいかミュージアム2階の開放的なレストラン。大きな窓から雄大な富山湾の絶景が一望できる好ロケーションで、店内ではホタルイカ料理を周年味わえる。刺身や天ぷら、パスタなどメニューも多彩で、深層水を使うコーヒーも美味。



☎076-476-1370 富山県滑川市中川原410 11時~17時LO 火曜(3月20日~5月末は無休) 160台

- #ほたるいかと筍のポッラー仕立てのパスタ1300円
- #ほたるいかのバジルときのこピザ1200円
- #急速冷凍の蛸烏賊の刺身1350円
- #南国に在るかのような異国情緒ただよレストラン

☎076-476-9300 富山県滑川市中川原410 9時~17時(入館は~16時30分) 6月1日~3月中旬の火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、1月最終月曜から3日間 入館820円(6月1日~翌年3月中旬は620円)、VR体験600円 160台(道の駅ウェーブパークなめりかわ)

ほたるいかミュージアム

●ほたるいかみゅーじあむ

小松市

勸進帳ものがたり館



「安宅勸進帳シアター」。上映後は、舞台上でイラストの3人と記念撮影も可

歌舞伎十八番の二つ「勸進帳」について詳しく紹介。「勸進帳」は、兄の源頼朝に追われて逃避行中の義経一行が、安宅の関を乗り越える物語。弁慶の機転と関守・富樫左衛門の温情が見どころで、その名場面を成田屋の舞台映像で鑑賞できます。 ※3月末まで休館中。

安宅の関ゆかりの歌舞伎「勸進帳」を紹介 成田屋演じる 名場面映像がおすすめ



義経と弁慶、富樫左衛門の銅像



歌舞伎「勸進帳」の衣装

勸進帳ものがたり館

●かんじんちょうものがたりかん

☎0761-21-6734 石川県小松市安宅町夕140-4「安宅の関こまつ勸進帳の里」内 9時～17時(入館は～16時30分) 水曜(祝日の場合は翌日) 入館300円 40台



3



4

1 ステンドグラス状に加工された7万年分の年縞が連なる圧巻のギャラリー 2 白っぽい層と黒っぽい層がセットで1年分。色の厚みが不規則な部分は天変地異が起きた証 3 水月湖の年縞から分かる7万年前からの風景を再現 4 建物の設計は公共施設を数多く手掛ける内藤廣氏。直線的なデザインで端正な空間

福井県年縞博物館

●ふくいけんねんこうはくぶつかん

☎0770-45-0456 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1 縄文ロマンパーク内 9時～17時(入館は～16時30分) 火曜(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月2日 入館500円(若狭三方縄文博物館共通券は3割引き) 70台



cafe縞 ●かふえしま

聞き慣れない年縞を学び、カフェで一服

年縞博物館の敷地内併設のカフェで、ガラス張りの窓外には縄文ロマンパークの緑が広がり爽やか。名物は年縞をイメージした黒いパンのサンドイッチ、年縞SAND。刺さっているストローを引き抜くと掘削の縞模様が現れる。

☎0770-45-3039 若狭町鳥浜122-12-1 11時～16時 火・水曜 70台



#タワーのようにそびえる年縞SAND950円 #竹炭を練り込んだ食パンを使用 #福井梅カレー1000円 #フレンチプレスの年縞コーヒー800円～

若狭町



1

福井県年縞博物館

ステンドグラスになって光り輝く縞模様には7万年分の自然環境をひもどく手がかりが！太古への興味がかき立てられるミュージアム 福井県若狭地方の三方五湖の一つ、水月湖には「年縞」という縞模様の堆積物があります。これは、葉や花粉、プランクトンの死骸などが湖底に沈み、1年に1層ずつ積み重なったもの。水月湖にはそれが約7万年分、長さにして45mもあり、さらに1年の欠けもない完全な状態で採取されました。年代測定の緻密な研究も評価され、水月湖の年縞は過去の年代を特定する世界標準の「ものさし」となっています。同館では、年縞形成の仕組みや、各層の花粉分析で分かる当時の植生や気候などを紹介。併設の研究機関による最新情報も発信しています。

心が浮き立つ春景色を見に

石川県金沢市 兼六園 ●けんろくえん

加賀藩前田家の歴代当主が作庭に関わった広大な回遊式庭園。さまざまな樹木や草花が植えられ、次々に園内を彩る。なんといっても桜の華やかさはダントツ。

☎金沢市兼六町1 ❷なし(周辺有料駐車場利用)



石川県穴水町 のと鉄道 能登鹿島駅 ●のとつどうのとかしまえき

☎穴水町曾福 約50台



ホーム両側から桜が覆い被さり、まるで桜のトンネルのような駅。通称「能登さくら駅」と呼ばれ、絶好のカメラスポットとして多くのファンが訪れる。



富山県朝日町 あさひ舟川 ●あさひふなかわ

☎富山県朝日町舟川新 250台



雪が残る北アルプスをバックに、桜、チューリップ、菜の花の4つが見られるスポット。「春の四重奏」として美しい絶景が人々をとりこにする。舟川の散策路は桜のトンネルに。